

企画セッション：2G3

## 高等教育機関におけるセキュリティ対策とソフトウェア一括契約

企画部会： ソフトウェアライセンス部会

オーガナイザー： 藤村直美（九州大学）

セッション概要：

ウイルス対策ソフトウェアは個別に購入するよりも大学等で一括契約する方がはるかに安価になることが九州大学で行なっているウイルス対策ソフトウェアの一括契約で明らかになっている。今年度は高等教育機関におけるセキュリティ対策の一環として、ウイルス対策ソフトウェアの問題点、今後のセキュリティ対策のための方法などについて、関連企業からの情報提供を受けて、参加者で議論を行なう。

1) 「2015年の脅威動向から学ぶ、今、行うべき対策と大学向けライセンス制度のご紹介」

杉本 真理（トレンドマイクロ株式会社法人営業本部）

2015年の脅威動向、最近のサイバー攻撃にみられる手法等をご紹介し、そこから事例を交えながら各種対策案、大学向けライセンスについて紹介する。また会員向けの特別な標的型攻撃対策ソリューションのキャンペーンを紹介する。

2) 「情報セキュリティの今後について」 古谷 尋（株式会社シマンテックノートン事業統括本部）

ウイルス等のインターネット脅威の移り変わりや最新の脅威への対抗策、BYODが必然な環境におけるデバイス保護対策とルール決め、コストエフェクティブ、リソースが掛からないセキュリティソリューションについて紹介する。

3) 上記の説明を踏まえて参加者で議論、藤村直美（九州大学）